

新入社員研修 参加 感想文

(オイスカ中部日本研修センターでは、毎年4月に新入社員研修を5泊6日で行っています)

令和7年4月10日

カリモワ・シトラ

(ウズベキスタン出身オイスカ新入職員)



この研修の中で学んだ事がたくさんありましたが、三つについて述べてゆきたいと思っております。それは、チームワークと積極性、自律、または感謝の大切さです。

まず、一つ目はチームワークの重要さです。それを規律訓練、34キロメートル歩行の野外総合実習、創作ゲームといった場面で実感することが出来ました。

まず、規律訓練を振り返ってみると、それは生まれて初めての体験でした。仲間たちの様子を観察しながらやりましたが、訓練の特別な言葉が難しく最初の日には苦勞しました。しかし、その夜チームメンバーが詳しく教えたり、一緒に練習したりしてくれました。そのお陰で残りの5日間は無事に訓練に参加することが出来、最終日に班長の役割を果たすことが出来ました。

この経験を通じて、自分のチームメンバーと近くなり自信を感じられ、みんな共に次々と自分を挑戦し続けることが出来ました。創作ゲーム中は、積極的にアイデアを提供し、新しい作品を作ることが出来ました。最後に、34キロメートルの歩行中にお互いを支えあう精神でメンバーが休憩を取りたいときに班長や先生たちに報告し、私のペースが落ちた時に待ってもらいました。

また、自律について述べると毎日の時間の守り方、規律訓練のやり方、挨拶などの行事を通じて磨きました。違う文化からまいった私は日本で就職し積極的にマナーを学ぶ事に力を入れていきたいです。これからは、社会人としてオイスカの職員として適切に行動してゆきたいと思っております。

最後に、感謝について述べたいと思っております。ニワトリ解体（生命の循環学習）を通じて生命や他者の労働の大切さがわかり、これからもその気持ちを忘れずに意識してゆきたいと思っております。

オイスカの皆様にもこれから大変お

世話になると存じますが、精一杯努めていき、感謝の気持ちを込めてがんばってまいります。